

登録コード	L2964300	開講年度	2026	
担当教員	KIM JUNG OK	副担当		
授業科目	朝鮮言語文化特論Ⅱ			
英文授業名	Korean Language Culture: Specialized Study Ⅱ			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 月曜・2時限
講義室	人文202演習室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ			
	【2022年度以降加修対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力		⇔	さらに難易度の高い韓国言語文化を学習することによって、韓国の詩、小説、随筆に関する理解が深まる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	韓国の詩、小説、随筆を通じて、そこに登場する人物の考えや価値観と一緒に考えることによって、もっと広い観点から物事を考えるようになる。
	【2023年度以降加修対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】		⇔	韓国語コミュニケーション能力が身に付く。
	【2023年度以降加修対象】専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	韓国の詩、小説、随筆を通じて、そこに登場する人物の考えや価値観と一緒に考えることによって、もっと広い観点から物事を考えるようになる。
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	前期の続きとして韓国の文学や詩、映画を幅広く学ぶことができます。まずガイダンスで授業の全体像と進行方法を説明します。 韓国について多角的に探求していき、その内容を活かした実践的な形として韓国語で招待状や紹介文を作ります。 最後に言語化して発表ができる力を育み、多言語対応に強い人材育成を望みたい授業であります。			
授業計画	1)ガイダンス 2)エッセイ・詩 3)随筆 4)小説 5)ことわざ（日韓比較） 6)韓国の歌（昔・現在） 7)8)韓国映画鑑賞 9) 最新ニュースの新聞記事 10)歴史から日韓の繋がり 11)韓国語で招待状を作ってみよう 12)韓国の食文化and生活 13)韓国語で日本文化を紹介文作成 14)上の13)で作成した内容を発表1 15)発表2・授業アンケート（最後の15分で実施） 16)期末試験			
成績評価の方法	課題：3割（授業時に指示した範囲の単語調べ及び翻訳） 授業中の活動・発表：3割 期末試験：4割			
成績評価の基準	1)授業中、積極的に発言・質問等をする 2)予習がしっかり出来ている 3)課題をしっかり提出する 4)授業で示した表現を正しく用いて教員と受け答えが出来る 5)長文の作文が作られる 1)～5)の5項を満たしていれば「卓越している」、4項を満たしていれば「かなり上にある」、3項を満たしていれば「やや上にある」、2項目までは「水準にある」			
事前事後学習の内容	しっかり予習してから授業に臨むこと			
履修上の注意	韓国語の初歩的な文法知識のある学生の受講が望ましい。 前期の成績が不可の場合は、後期の受講は不可能である。 予習や復習をすること。 *遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後			
質問、相談への対応	seals42@hotmail.com			
教科書	使用しません。			

参考書	授業時に紹介します。
-----	------------